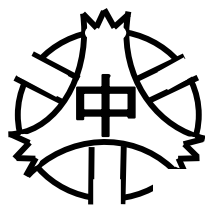


学校だより



北友

学校教育目標「夢に向かって 自ら学び 高め合う生徒」

富士宮市立北山中学校
令和7年 11 月 28 日(金)

学校 HP では、カラー版の
紙面をご覧ください。



学校 HP

「しつけ」と「厳しさ」

校長

日常生活の中で「しつけ」という言葉を耳にしたり、話題にしたりする機会は多くあります。音だけで「しつけ」と聞くと、「規律」「鍛錬（たんれん）」「わがまを許さない!」といった、こどもの行動を厳しく型にはめて指導するイメージが強く響きます。一方、漢字ではご承知のとおり「身」と「美」という字から成り、「身を美しく整える」という温かい願いが込められているような印象を受けます。外見や仕草だけでなく、心のあり方や生活そのものを整えていく言葉のようにも感じます。そこには、厳しさ一辺倒ではない、むしろ、前向きで柔らかい響きがあるようにも感じます。

「躾」は元々、日々の生活を通して心身ともに美しく整った人間に育つように、自然に美しい所作や態度を育てていく営みであると考えられていました。家庭や学校、地域社会に限らず、日本では昔から「躾の本来の意味」を大切にし、こどもたちの生活について指導や助言をすることが重要視されてきました。朝のあいさつでは、声を出すだけでなく、相手を見る姿勢や気持ちを込めたことばのやり取りを意識しているか…。掃除では、ほうきの動かし方や雑巾のしぼり方など、小さな動作の積み重ねを大切にしているか…。タンスの中の衣類は丁寧に折りたたみ、種類別に分けてすぐに取り出せるようにしているか…。こうした一つひとつの習慣はすぐに身につくものではありませんが、根気強く続け、こどもの心と生活を整えていく基盤としてきました。特に家庭では、こどもが幼少期から「靴をそろえる」「食事のあいさつを丁寧にする」「使った物をもとの場所に戻す」など、日々の中で続けられる習慣を繰り返し、こどもの自立心も養ってきました。

中学生になってからも、これらの基本的なことができたときに「いいね!」と声をかけると嬉しくなり、次につながる意欲が生まれます。とはいえ、他律から自律に切り替わる多感な時期に、学習と睡眠時間の確保、メディアの使い方等、新たな習慣づくりを促すのは簡単ではないのも事実です。できない理由を一緒に考える温かい関わりは大切ですが、それだけで自然に習慣化や生活改善が進むわけではありません。日々の家庭生活や学校生活では、時には毅然と姿勢を正す指導を行い、基本的な行動を丁寧に確認しながら、粘り強い働きかけを重ねることも必要です。こうした粘り強い積み重ねは、こどもたちを前向きにし、自信を育てていく土台にもなります。発達段階によって、また、目的、場面、状況に応じて「厳しさ」も必要です。

ここで、厳しさについて少し視点を変えてみたいと思います。昔から、「厳し（いつくし）＝美し（うつくし）」という言葉がありますが、この厳しは古語で、「大切にする」「いとおしむ（情をかけて、かわいがる）」という意味があり、「愛情深い」「かけがえない」という深い意味も持ち合わせています。「厳しさ」は、ただ叱ることではなく、相手を想う強い気持ちがあるからこそ、必要なことを丁寧に伝えるという意味として認識されてきました。ほんの少しの厳しさが、やがてこどもたちの生活の美しさや落ち着きにつながっていきます。厳しさの中にある優しさ、優しさの中にある毅然とした指導。このバランスを大切にしながらこどもの「自律」へつなげる教えだと思います。

学校と家庭、地域が同じ方向を向き、こどもたちの成長を一緒に支えることほど心強いことはありません。日々の小さな積み重ねを大切にしながら、こどもたちが自分の力で生活を整え、人とのよりよい関わりを築いていけるよう、今後も多くの方々と力を合わせて、成長を支え育てていきたいと思っています。

特集「コミュニティ・スクールとして取り組む北山中学校 その3」

今年度より北山中学校は、「コミュニティ・スクール」としての取組を開始しています。コミュニティ・スクールとは、地域とともにある学校づくりを目指し、学校運営協議会を置く学校のことです。

11月10日（月）に第2回学校運営協議会を開催いたしました。今回は、北山中学校が取り組む教育活動と活動する生徒の表れについて協議しました。

委員の皆様からいただいたご意見の一部を紹介いたします。

- ・ 北友祭（文化の部、体育の部）において、生徒がのびのびと自らの学習成果を表現する姿が見られた。1人1人の生徒を温かく見守る集団としての学校の在り方が素晴らしい。
- ・ 北友祭が生徒主体の教育活動となっており、主体的に取り組む生徒に寄り添った支援を教師が実行している。
- ・ キッズゲルニカ制作を通して、文化部や北友太鼓部の活動を地域に発信することができた。
- ・ 数年後に社会で活躍する生徒にとって、自らを表現する力と共に、周りの人間を理解する力の育成が必要となる。



委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、今後もこどもたちのウェルビーイングの実現に向けて取り組んで参ります。

◎世界に向けて北山中の活動を発信しました 11月2日（日）キッズゲルニカ展

キッズゲルニカ富士宮実行委員会様から依頼をいただき、文化部の代表生徒と北友太鼓部の生徒が白糸ノ滝芝生広場で行われたキッズゲルニカ展に参加いたしました。

当日はアメリカや韓国の代表者など国内外の関係者が集まっていました。

文化部の生徒はキッズゲルニカの絵に込めた想いを日本語と英語を交えて発表しました。また、北友太鼓部の生徒は日頃の練習成果を発揮すると共に、日本文化について海外の方たちに発信することができました。



◎自らの学習成果について意見交換しました 11月14日（金）北友学習発表会

北友学習（富士山学習）において、こどもたちは自ら学習課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいます。その成果を発信する場として北友学習発表会を実施しました。

環境や食、防災等をテーマに取り組んだ内容を友達に解説し、発表を聞いた友達と意見交換を行いました。



12・1月の主な行事予定

12月1日（月）富士山噴火対応訓練（引き渡し訓練）	1月6日（火）3学期始業式
12月5日（金）なかよし運動会（3・4組）	1月7日（水）給食開始
12月7日（日）PTA 古紙回収	1月8日（木）県学力調査（1・2年） 実力テスト（3年）
12月10日（水）4時間日課	1月17日（土）教育の日、お弁当づくりの日
12月16日（火）～19日（金）三者面談	1月19日（月）代休日
12月22日（月）弁当持参、5時間日課	1月21日（水）4時間日課
12月23日（火）2学期終業式	1月29日（木）新入生入学説明会